

2018年度助成分

●2018年度に野村財団の客員研究員助成を受けて、東京大学大学院経済学研究科が行った活動は以下の通りである。

- ①研究者：Masami Imai (Economics Department, Wesleyan University, Professor)
滞在期間：2018年7月1日～2018年7月31日
受入機関：東京大学大学院経済学研究科
受入責任教官：岡崎哲二（東京大学大学院経済学研究科・教授）
研究課題名：Effects of Central Bank's Liquidity Provision on Bank Lending : Evidence from Great Depression in Japan
- ②研究者：大西健 (Federal Reserve Board, Senior Economist)
滞在期間：2019年3月19日～2019年3月24日
受入機関：東京大学大学院経済学研究科
受入責任教官：若森直樹（東京大学大学院経済学研究科・講師）
研究課題名：日本戦前期の電力産業における合併の決定要因とその効果の分析